



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2005.9

No. 257

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



私の散歩道・寺尾調節池

藤掛 保司 (川越市)

ここ**寺尾調節池**は、昨年3月頃、川越市寺尾地区の新河岸川沿いに完成しました。

土手は一周約1.8km。舗装されており、多くの人たちが、散歩、ジョギング、ウォーキング、持久走等々に利用しています。その人たちの中に、双眼鏡を下げた私も仲間入りし、歩く楽しさを得て、日常の健康管理に大いに役立ちました。また、身近な野鳥観察の楽しさを再認識できました。そして新しい友達も増えました。

そんな楽しさの中で、散歩をしながら**観察できた野鳥**を表にしました。右ページです。

年間を通してよく見られた … カルガモ、キジバト、ハクセキレイ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラスの7種は、ほぼ90%以上の確率(表の右端欄参照)で観察することができました。

年間を通して見られた … カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、バン、イソシギ、カワセミ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、シジュウカラ、カワラヒワ、オナガの14種は、ほぼ毎月のように観察することができました。

カワセミはビギナーからベテランまで人気の鳥です。毎月観察できました。「見たことがない」という方をご案内するには格好のポイントです。是非どうぞ。

時々 … トビ、オオタカ、チョウゲンボウ、キジ、クイナ、ヒバリの6種類でした。

1～2回 … ササゴイ、チュウサギ、コアジサシ、ノビタキ、シメの5種類です。

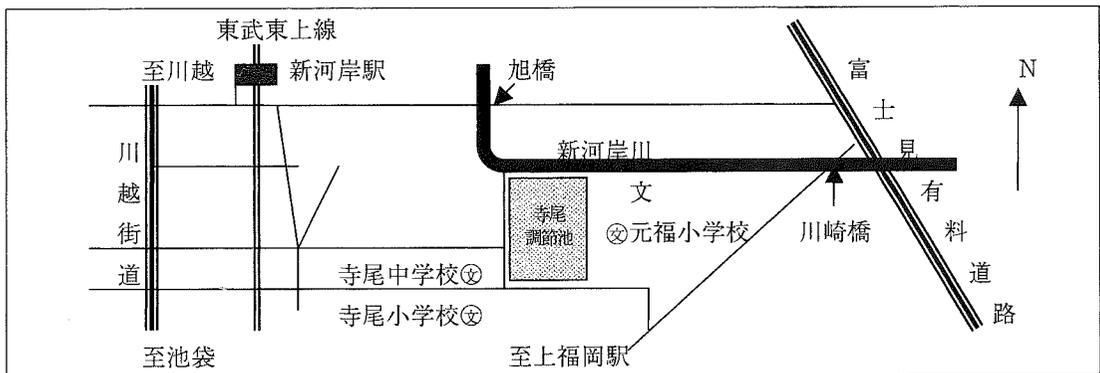
幼鳥の記録 … コチドリ、バン、ハクセキレイ、セグロセキレイ、スズメの5種類を

ビデオに記録することができました。ビデオで見るとまた別の楽しさがあります。カルガモ、キジ、ヒバリ、ツバメ、シジュウカラ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラスの8種類の幼鳥も観察できました。

珍客 … 珍客のオオソリハシシギとトモエガモに感激し、ビデオに記録するとともに、『しらこぼと』に写真と情報を送りました。

観察期間前後で … ヨシゴイ、アマサギ、オシドリ、キンクロハジロ、タゲリ、シロハラの6種を記録しています。今後も観察を続け、確認種を増やすのも楽しみです

リュックサックの中身 … 今までは、双眼鏡、野鳥図鑑、日本野鳥の会埼玉支部の入会案内の三つが私の必携でした。しかし、これからは今月号をそれに加え、寺尾調整池を楽しんでいる人たちにPRしていきたいと思います。



アクセス…東武東上線「新河岸駅」から徒歩20分

寺尾調節池周辺の野鳥

観察期間：2004年4月～2005年3月 観察日数合計：197日 観察種数合計：65種

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	%
観察日数	3	6	12	18	21	13	26	24	20	22	13	19	197	%
1 ガイツブリ			●	●	●	●	●	●	●	●		●	74	38
2 カワウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	52	26
3 ゴイサギ		●	●	●	●	●	●	●			●		32	16
4 ササゴイ				●	●								2	1
5 ダイサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	133	68
6 チュウサギ						●							1	1
7 コサギ	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	129	66
8 アオサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	121	61
9 マガモ					●		●	●	●	●	●	●	73	37
10 カルガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	184	93
11 コガモ	●					●	●	●	●	●	●	●	122	62
12 トモエガモ									●				6	3
13 ヨシガモ										●			24	12
14 オカヨシガモ									●	●		●	18	9
15 ヒドリガモ	●						●	●	●	●	●	●	113	57
16 オナガガモ							●	●	●	●	●	●	22	11
17 ハシビロガモ							●			●			10	5
18 ホシハジロ								●	●	●	●	●	37	19
19 トビ		●		●		●							3	2
20 オオタカ				●		●	●	●	●	●			10	5
21 チョウゲンボウ							●	●	●		●		9	5
22 キジ		●	●	●	●		●	●				●	10	5
23 クイナ						●			●	●			4	2
24 バン			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	69	35
25 タマシギ				●			●						19	10
26 コチドリ	●	●	●	●	●	●						●	59	30
27 イカルチドリ							●	●	●	●	●	●	91	46
28 ハマシギ							●	●					3	2
29 キアシシギ				●		●	●						4	2
30 イソシギ			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15	8
31 オオソリハシシギ							●						11	6
32 タシギ	●	●				●	●	●	●	●	●	●	75	38
33 コアジサシ			●										2	1
34 キジバト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	105	99
35 カッコウ		●		●									2	1
36 カワセミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	112	57
37 コゲラ							●	●		●		●	3	2
38 ヒバリ	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	42	21
39 ツバメ	●	●	●	●	●	●	●					●	68	35
40 イワツバメ	●	●		●									6	3
41 キセキレイ							●	●	●	●	●	●	41	21
42 ハクセキレイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	194	98
43 セグロセキレイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	134	68
44 タヒバリ	●						●	●	●	●	●	●	61	31
45 ヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	146	74
46 モズ				●	●		●	●	●	●	●	●	81	41
47 ジョウビタキ							●	●	●	●	●	●	47	24
48 ノビタキ							●						1	1
49 ツグミ	●							●	●	●	●	●	58	29
50 ウグイス										●		●	6	3
51 オオヨシキリ		●	●	●	●								25	13
52 セッカ	●	●	●	●	●	●							63	32
53 シジュウカラ	●	●				●	●	●	●	●	●	●	40	20
54 メジロ		●					●	●	●	●	●	●	12	6
55 ホオジロ		●						●	●	●	●	●	41	21
56 ガシラダカ										●	●	●	18	9
57 アオジ								●	●	●	●	●	45	23
58 オオジュリン										●	●	●	15	8
59 カワラヒワ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	130	66
60 シメ									●	●			2	1
61 スズメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	195	99
62 ムクドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	176	89
63 オナガ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	27	14
64 ハシボソガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	191	97
65 ハシブトガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	190	96

2005年冬 カワウ屋の生息数調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

2005年1月8日～10日、カモ科調査と同時に実施された、カワウ屋の生息数調査を報告する。

- ・ 休日調査のため、人出によりカワウが逃げ、少な目の値。
- ・ コロニーである荒沢沼、カワウが集まる埼玉鴨場、東武動物公園、宮沢湖、児玉カントリークラブ、大谷調整池、利根大堰など、及び東松山市・小川町・滑川町・吉見町などのため池が調査対象に含まれなかった。
- ・ 谷中湖では、餌採りに飛来する個体数の日変動が大きい。



上述のため、県内の昼間の生息個体数は、調査結果より大きいと考えられる。(小荷田行男)

カワウ (編集部)

調査地	入間川	荒川							そうか公園	古利根川	利根川	渡良瀬遊水地	狭山湖	小群川調節地	新河岸川	
		豊水橋↗新富士見橋	初雁橋↗雁見橋	荒川鉄橋↗戸田橋	(荒川第一調節地)	秋ヶ瀬橋↗羽根倉橋	南畑排水機場↗びん沼川	荒川大橋↗明戸堰								玉淀ダム
調査範囲									池全部	寿橋↗堂面橋	藤塚橋↗古利根橋	坂東大橋下流	貯水池	湖全部	池全部	川崎橋↗寺尾調節池
地域	狭山市	川越市	戸川口市	戸田市	さいたま市	さいたま市	熊谷市	寄居町	草加市	松伏町	春日部市	本庄市	北川辺町	所沢市	川越市	川越市
2004年	2	5	3	136	3	9	-	2	6	2	-	-	307	-	1	3
2005年	2	-	300	503	5	6	6	0	0	5	0	8	992	68	0	1

百穴湖	武蔵丘陵森林公園	大沼公園	川越水上公園	八丁湖	県立農林公園	昭和池	さきたま古墳	白幡沼	見沼自然公園	柳瀬川	黒浜沼	元荒川	赤堀遊水地	緑の丘公園	合計	生息数 / 調査地数
大沼	公園内の池全部	大沼	池全部	池全部	芳沼	久喜高蒲公園	古墳の池全部	沼全部	池全部	富士見橋↗栄橋	上沼	城北大橋↗水管橋	池全部	池全部		
吉見町	滑川町	江南町	川越市	吉見町	川本町	久喜市	行田市	さいたま市	さいたま市	志木市	蓮田市	岩槻市	橘川市	松伏町		
7	136	0	-	4	0	42	2	0	3	1	0	2	20	-	696	27.8
5	191	0	2	-	0	24	0	0	0	1	8	0	22	0	2127	73.3

■ 支部野鳥記録委員会の最新情報 ■



●オウチュウを県内初記録として追加 (318 番目)

分類 スズメ目オウチュウ科オウチュウ属
学名 *Dicrurus macrocerus*
英名 Black Drongo

平成 17 年 (2005 年) 6 月 8 日 (水) 午前 10 時ころ、県支部会員の栗原健治・直子夫妻 (東松山市) が、比企郡吉見町今泉の吉見総合運動公園で、枝先から飛んでいる虫を目掛けて飛び立ち、またもとの枝に戻るといふ捕食行動を繰り返すオウチュウ 1 羽を発見。連絡を受けて駆けつけた数名が写真撮影した。8 日夕方まで観察されたが、翌日は見つからなかったとのこと。掲載した写真は、最初に支部事務局に届けられた成田武敏会員 (さいたま市) が撮影したものです。

全体の大きさ、色、尾が長く切れ込みの大きい燕尾であること、暗紅色の虹彩などから、オウチュウであるとの同定に特に問題はありません。

ただ本来の生息地 (イラン南東部から中国・東南アジアに広く分布。日本近くでは中国の一部と台湾で夏鳥。日本では九州以南で迷鳥としての記録がある) とは離れていることから、飼育されていた個体のいわゆる「かごぬけ」ではないか、という検討をする必要があります。

本個体は、野生としての採餌行動が観察され、籠などで飼育されていた場合にしばしば見られる尾羽のすりきれなどが見えません。また、日本野鳥の会発行野鳥保護資料集第 16 集『野鳥の飼養・販売・輸入の実態とその問

題点』によれば、販売されていた野鳥リストの中に、日本産、外国産ともにオウチュウは見当たりません。渡り途中の迷行例として、時季的にも矛盾しません。一方、飼育されていた個体であることを積極的に示すものは、今のところ見当たりません。

もうひとつの問題点は、本種は日本鳥学会発行『日本鳥類目録改訂第 6 版 2000』に掲載されていないことです。同日録に準拠することを基本としている当委員会としては考えなければならない点ですが、例えば同日録では外来種とされているコジュケイを、自然環境の中で無視できないものとして県内野鳥リストには入れている例もあり、明らかな客観的な裏づけ写真、観察報告がある本種は、県内野鳥リストに加えても差し支えないと判断しました。

●サカツラガンの記録について

本年 4 月、越谷市内でサカツラガンが撮影されたとの記事が一部の新聞に掲載されたことについての問い合わせが、支部事務局にありました。

本誌平成 13 年 (2001 年) 8 月号 (第 208 号) に、同年 4 月 10 日ごろ、さいたま市深作沼で写真撮影された同種と思われる個体について、「サカツラガンは県内各所の動物園や個人で飼育されている例が多く、いわゆるかごぬけ個体が各地で目撃されています。この個体も、自然分布であるとの確証は得られませんので、県内野鳥リストには入れないでおきます。なお、サカツラガンは、かつて越谷市内の宮内庁鴨場で捕獲された例が文献に記録されているだけで、その他の記録はありません。」と、当委員会として発表しました。

サカツラガンに良く似たガチョウが飼育されていることも知られていることであり、現状ではまだ、上記の見解を変更する根拠はないと判断されますが、2 例とも 4 月の記録であることは興味深いところです。今後も注意していきたいと考えます。



野鳥情報

- さいたま市見沼区深作～丸ヶ崎 ◇4月12日朝、ムナグロ5羽、ツバメ2羽、タヒバリ、オカヨシガモ、コガモ、ハシビロガモ、カイツブリ、バン、コサギ、ダイサギ、アオサギ、ゴイサギ、カワウ、カシラダカ、タシギ3羽など（本多己秀）。
- さいたま市見沼区大谷環境広場 ◇4月19日、タシギ6羽、コチドリ3羽。4月25日、ジシギ類5羽（鈴木紀雄）。
- さいたま市見沼区丸ヶ崎 ◇4月20日早朝、ムナグロ9羽。コアジサシ2羽初認。4月29日早朝、ムナグロ3羽、コチドリ1羽、タシギ1羽（本多己秀）。
- さいたま市見沼区東大宮 ◇4月22日午前6時15分、ヒヨドリ20～30羽の群れが東に渡る（藤原寛治）。
- さいたま市見沼区御蔵 ◇4月22日、ヤブサメ1羽、雑木林の落葉の林床を歩いていた（鈴木紀雄）。
- さいたま市見沼区片柳 ◇4月26日、林内でアカハラ約5羽の小群（鈴木紀雄）。
- さいたま市見沼区大宮南部浄化センター付近 ◇4月27日、芝川の土手の内側、菜の花に囲まれた葦の枯れ残ったなかで、オオヨシキリが1羽やや控えめな感じに鳴いていた。今年初認（赤堀尚義）。
- さいたま市見沼区宮ヶ谷塔 ◇4月30日昼過ぎ、ムナグロ189羽、これだけの群れなのに、別のシギチが1羽も混じっていなかった（本多己秀）。
- さいたま市北区宮原町4丁目 ◇4月22日午前6時30分、ヒヨドリ40～50羽の群れが北東へ渡る（藤原寛治）。
- さいたま市桜区鴨川 ◇4月14日午前10時頃、在家橋とそのひとつ下流の学校橋にてイワツバメ巣づくり（増田徹）。
- さいたま市西区島根 ◇4月19日午後4時半頃、秋ヶ瀬A'区でムナグロ20羽ほど田んぼの畦近くに降り立ち、折からの東からの冷たい強風を避けて畦に沿って身を屈めて並ぶ。近いところで人家より僅か50m位の距離。カワラヒワ、タヒバリ、ツグミ、ムクドリもスコープと一緒にいる（増田徹）。
- さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇4月12日、ようやくツバメの飛び交う姿が見られるようになった。越冬したヤマガラはまだいる。西側の畑でキジ♀♀。釣堀でコサギ1羽、常連客から「シロちゃん」と呼ばれ、魚をもらっているらしい。4月14日、キビタキ♀1羽、コサメビタキ1羽。4月17日、カケス、シロハラなど。4月18日、アカハラが藪でござござ。4月24日、ようやくコムクドリ♂2羽♀1羽に会えた。4月25日、コムクドリ♂1羽♀1羽、オオヨシキリ初認。クロジ♂若鳥1羽の他に数羽の声。4月28日、クロジ3+羽の声。コムクドリ27羽、オナガ10+羽、アカハラなど（鈴木紀雄）。
- さいたま市岩槻区掛 ◇4月12日朝、ムナグロ4羽（本多己秀）。◇4月17日早朝、ムナグロ82羽、午前中に全て飛び去った。4月19日早朝、ムナグロ176羽、タヒバリ3羽、カルガモ、コサギ。4月22日早朝、ムナグロ122羽。4月27日早朝、ムナグロ145羽（本多己秀）。◇4月21日、ムナグロ31羽。4月24日、ムナグロ54羽。4月25日、ムナグロ210羽+。4月30日、ムナグロ約50羽（鈴木紀雄）。
- さいたま市岩槻区尾ヶ崎新田 ◇4月19日、チュウサギ1羽、池にハシビロガモ7つがい（鈴木紀雄）。
- さいたま市岩槻区長宮 ◇4月21日、チュウサギ5羽。4月22日、ムナグロ12羽。4月25日、ムナグロ約20羽。4月27日、ムナグロ33羽（鈴木紀雄）。
- さいたま市岩槻区加倉5丁目 ◇4月22日午前5時～5時30分、自宅脇水路のフェンス上でクサシギ3羽、さかんに鳴き交わしたり、飛び上ったりしていた（藤原寛治）。
- さいたま市岩槻区高曽根 ◇4月25日、チョウゲンボウ♂1羽、ネズミらしきものをつかんで飛んでゆく（鈴木紀雄）。
- さいたま市岩槻市末田 ◇4月25日、永代橋

上流部の浮きにとまるコアジサシ2羽、初認（鈴木紀雄）。

春日部市内牧 ◇4月19日、カケス6+羽（鈴木紀雄）。

庄和町上金崎 ◇4月21日、ジシギ類4羽が採餌。1羽は明らかに大きくオオジシギと判断。2羽はタシギ。残りの1羽はチュウジシギの可能性あるも分からず（鈴木紀雄）。

蓮田市川島 ◇4月21日、電線にとまるムクドリ約10羽の中にコムクドリ♂。4月30日、ムナグロ約15羽（鈴木紀雄）。

蓮田市黒浜 ◇4月21日、療養所内でクロジ数羽。4月25日、水田でムナグロ約10羽。4月28日、水田でチュウシャクシギ1羽。療養所内でオオルリ♂1羽♀1羽、キビタキ♂1羽、他にもヒタキ類と思われる鳥が2羽いたが確認できず。エナガ2羽、シメなど。オオルリ♂はぐざっていた（鈴木紀雄）。

蓮田市蓮田 ◇4月23日早朝、ムナグロ22羽、キジ♂♀、コサギ、ダイサギ（本多己秀）。

蓮田市江ヶ崎 ◇4月25日早朝、ムナグロ37羽、コチドリ。4月27日早朝、ムナグロ36羽、イソシギ1羽、キョウジョシギ1羽（本多己秀）。

越谷市大道 ◇4月22日午後5時30分頃、キジ♂1羽♀1羽、調整池の草原で仲良く歩いているのを観察していたら、近くの屋敷林に飛んでいった（小菅靖）。

越谷市七佐町8丁目 ◇4月23日午前6時30分、自宅でシラコバト1羽観察。電線にとまって鳴いていた。最近個体数が減少している（小菅靖）。

桶川市若宮 ◇4月17日午前7時45分、ヒヨドリの渡り。30羽+の群れ、上空を北東へ。4月22日午前6時13分、ヒヨドリ20羽+の群れ、上空を北東へ。4月26日午前6時30分、北側ベランダの方から美しく大きな声で「チョチョットビー」。7時45分、出勤時にもさえずる。妻の話だと、午後2時頃に夕立が来るまで同じ所でさえずっていた（立岩恒久）。

上尾市大宮ゴルフコースの森 ◇4月29日午

前6時頃、エゾムシクイ、センダイムシクイ、キビタキ、アオジそれぞれのさえずりを聞く（立岩恒久）。

所沢市狭山湖 ◇4月19日午後、シマアジの♂♀各1羽をOさんが発見しました。コガモの中に混じって、堤防南詰めの比較的近くで見られました。観察されたのは4月19日から29日まで（24日と27日を除く）。その後5月7日、9日にも確認情報がありました。猛禽が現れるとコガモと一緒に、入り江奥に逃げ込んでしまうことがありました（小林ますみ）。

所沢市山口 ◇4月13日午前5時頃、アカハラの囀りで目が覚めました。目覚まし時計より早く起こされましたが、こういうのは悪い気持ちはしないですね（小林ますみ）。

狭山市入間川 ◇4月23日、アマツバメ約20羽。イカルチドリ親子連れ、ハシブトガラスにしつこく狙われ親鳥が懸命に擬傷行為を繰り返すがついに1羽のひなが犠牲に（久保田忠資）。

吉見町八丁湖 ◇4月17日午後2時30分頃、赤松林の北縁から続く林の数ヶ所でコサメビタキ1羽。その林縁で夏羽♂1羽を含むアトリ4羽、新芽の枝から枝へと移動（鈴木敬）。

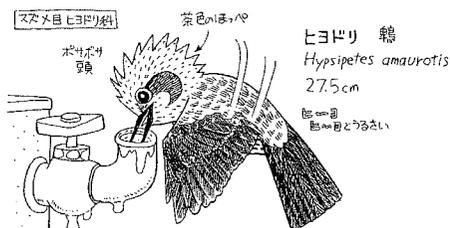
児玉郡神泉村神流湖 ◇4月21日ヤマセミ、♂♀各1羽。♀はダムの放水ゲートのアンクルに止っていたが、オスが工用防衛ネットに迷い込み出られず、右往左往、最後はネットに噛み付いていた、観察していて段々動きが鈍くなってきたので、ダム近くの水資源管理事務所に現況報告、担当者がネットを加工し開放、無事に♀の元にたどり着けた。まずは目出度し、目出度し！（町田好一郎）。

本庄市利根川新坂東大橋下流 ◇4月23日コアジサシ6羽、悠々と舞っていた。4月27日スズガモ♂♀各1羽、新坂東大橋の下を仲良く遊泳していた（町田好一郎）。

表紙の写真 コアジサシ（チドリ目カモメ科アジサシ属） 撮影：町田好一郎（本庄市）



行事案内



(富士鷹なすび)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章した担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費：一般 100 円、会員と中学生以下 50 円。持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も（なくても大丈夫）。解散時刻：特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

リーダー研修会 (要予約)

期日：9月4日(日)

会場：埼玉県自然学習センター

詳しくは 8 月号 P9 をご覧ください。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：9月11日(日)

集合：午前 9 時 30 分、秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷 9:11 発、または寄居 8:49 発に乗車。

担当：島田、和田、中里、石井(博)、倉崎、高橋(ふ)、後藤、藤田、栗原、飛田、大澤、新井(巖)

見どころ：秋の渡りの鳥たち、ツツドリ、ノビタキ、ショウドウツバメなどが楽しめるといいですね。それにナツアカネ、ジャコウアゲハも舞っています。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：9月17日(土) 午後 3 時～4 時ごろ

会場：支部事務局 108 号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：9月18日(日)

集合：午前 8 時 15 分、京浜東北線北浦和駅東

口、集合後バスで現地へ。または午前

9 時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、福井、手塚、倉林、渡辺(周)、

若林、小菅、赤堀、新部、青木、増田

見どころ：ショウドウツバメやツツドリが見られるかな。田んぼでは稲が黄金色に実っています。見沼の風景には、やはり田んぼがいいですね。初秋の風に吹かれにお出かけください。

坂戸市・高麗川探鳥会

期日：9月19日(月・祝)

集合：午前 9 時、東武越生線川角駅前。

交通：東武東上線川越 8:13→坂戸で越生線乗り換え 8:42 発。または寄居 7:53→小川町乗り継ぎ、坂戸で越生線乗り換え。JR 川越線大宮 7:35→川越で東武東上線乗り換え。

担当：藤掛、高草木、青山、久保田、志村、増尾、佐藤、池永、杉原、高橋(優)原、林、藤澤、持丸、山田(義)

見どころ：高麗川の流りは毎年変化していますが、野鳥は変わりません。今秋も逢えるモズの高鳴き、なわばり争い。捕らえた小動物を小枝に刺す「はやにえ」なども探しに、お出かけください。

シギ・チドリ類県内調査

期日：9月19日(月・祝)

埼玉県支部では、春と秋の 2 回、独自にシギ・チドリ類の調査を行っています。

とくに下記の地点では、より多くの会員の参加・ご協力をお願いいたします。

◆大久保農耕地（さいたま市）

集合：午前9時30分 大久保浄水場の北西角
近くの土手の上、グラウンド入り口。

担当：石井 智

解散は昼頃の予定。調査のため参加費は不要です。雨天でも行います。

タカの渡り調査

期日：9月23日（金・祝）、24日（土）、25日（日）

恒例の調査です。1日空を眺めているだけで貴重なデータが得られるし、タカ類についても勉強できます。初めての方も気軽にどうぞ。雨天（小雨でも）中止。調査のため参加費は不要です。

◆天覧山（飯能市）：24日（土）25日（日）

集合：午前9時から正午まで。ご都合のよい時間に山頂展望台へお越しください。近くに水洗トイレあり。

交通：西武池袋線飯能駅から徒歩約30分

担当：佐久間

他に下記の地点でも調査を行います。

◆物見山駐車場（東松山市・鳩山町）：23日（金・祝）

◆小川げんきプラザ本館屋上（小川町）：25日（日）

調査時間は朝から正午過ぎまで。お近くの方は都合のよい時間にお越しください

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：9月25日（日）

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

交通：西武新宿線本川越8:43発、所沢8:36発に乗車

担当：長谷部、藤掛、高草木、中村（祐）、山本（真）、久保田、山本（義）、石光、山田（義）

見どころ：この探鳥会で、最初に記録される冬鳥はカケスカコガモか、どちらだろう。それとも別の誰かかな。

松伏町・松伏記念公園探鳥会

期日：9月25日（日）

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線北越谷駅

東口、集合後午前8時50分発エローラ行きバスで「松伏高校前」下車。または午前9時30分松伏記念公園北駐車場。

担当：田邊、橋口、大塚、神場、吉岡（明）、小菅、土澤、榎本（建）、野村（弘）、野村（修）

見どころ：何ととっても売り物は、サギのオンパレード。昨年は、ヨシゴイも入れて、7種が勢揃いしてくれました。異なる種のサギが並んで見られるので、初心者とはもとより、中級者にも勉強になること請け合いです。シラコバトは、必ず見られるとは言えないほど数が減ってきています。参加者の熱意で呼び集めましょう。

その他：今回も松伏中央公民館と共催です。

長野県・戸隠高原探鳥会（要予約）

期日：10月22日（土）～10月23日（日）

集合：22日午前9時10分、長野駅コンコース新幹線改札口を出て右側。

交通：長野新幹線「あさま551号」（東京6:52→大宮7:18→熊谷7:32→本庄早稲田7:43→高崎7:53→長野8:47着）、または「あさま1号」（東京7:28→大宮7:52→長野8:53着）

費用：11,000円の予定（1泊3食、現地バス代、保険料など）。万一過不足の場合は当日精算。集合地までの往復交通費は各自負担。

定員：30名（先着順、県支部会員優先）

申し込み：往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号、喫煙の有無を明記して、菱沼一充

まで

担当：菱沼（一）、北川、藤掛、中里

見どころ：野鳥、紅葉、新そば、きのこ盛り沢山の探鳥会です。普段見る機会の少ないムギマキ、マミチャジナイ、オオアカゲラなどが期待できます。

注意：宿泊は男女別の相部屋です。個室の用意はできません。



行事報告

4月29日(金、休) 春日部市 内牧公園

参加：37名 天気：快晴

コサギ カルガモ キジ コチドリ キジバト
コゲラ ヒバリ ツバメ セグロセキレイ ヒヨ
ドリ モズ ツグミ セッカ シジュウカラ メ
ジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムク
ドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス
(23種) 開始後しばらくは鳥影が淋しかったが、
林内に入るとクヌギに群がるシメ、シジュウカラ、
メジロ、コゲラが出て一安心。早くも夏日となっ
た暑さも手伝って、声も聞こえず、夏鳥との出会
いはなかったが、草地を横切るキジの雄、雌が花
を添えてくれた。目にまばゆい新緑に親しむ探鳥
会だった。(石川敏男)

4月29日(金、休) シギ・チドリ類調査

ボランティア：14名

阿久津廣、阿久津キクエ、石井智、海老原教子、
海老原美夫、大勝学、大坂幸男、岡部千代子、栗
原豊、佐久間博文、志村佐治、陶山和良、福井恒
人、持丸順彰 ◆ 快晴の好天に恵まれ、さいたま
市秋ヶ瀬地区で行われた。

5月1日(日) さいたま市 秋ヶ瀬自然観察会

参加：34名 天気：晴後曇

○ピクニックの森

<夏緑樹・高木>ハンノキ ケヤキ エノキ ミ
ズキ アメリカクロポプラ ニセアカシア クヌ
ギ オニグルミ アカメガシワ ムクノキ シダ
レヤナギ トウカエデ エゴノキ <夏緑樹・低
木>ゴマギ カマツカ モミジイチゴ ヤマグラ
ノイバラ <照葉樹>シュロ ネズミモチ シャ
リンバイ トウネズミモチ <草本>ツボスミレ
ムラサキサギゴケ ノウルシ ヤブタビラコ ド
クダミ カントウタンポポ カキドウシ ケキツ
ネノボタン チョウジソウ ムラサキケマン オ
オイヌノフグリ ヒメオドリコソウ ハルジオン
ダンドボロギク セイヨウタンポポ ヨシ アズ
マネザサ <鳥>カイツブリ アオサギ カルガ

モ キジ コチドリ キジバト カワセミ コゲ
ラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ モズ オオヨシ
キリ キビタキ シジュウカラ メジロ カワラ
ヒワ ハシボソガラス ハシブトガラス

○田島ヶ原 サクラソウ自生地 (第1自生地)

<開花していた草本>サクラソウ ノウルシ チ
ョウジソウ カラスノエンドウ アマドコロ ノ
ダイオウ ギシギシ トダスゲ ツボスミレ ス
ズメノエンドウ カントウタンポポ ヒキノカサ
アメリカフウロ ハルジオン

3月は低温が続き、春は遅れ気味。秋ヶ瀬ピクニ
ックの森は、樹々も草も眩しい新緑の季節。キビ
タキが囀り、湿った林床にはチョウジソウ、ノウ
ルシ、ツボスミレが咲き、ゴマギ、モミジイチゴ、
カマツカなどの低木やミズキやエゴノキなどの高
木が蕾や花を付け、湿原は冬枯れのヨシに真新し
い若芽が伸び始めたばかり。田島ヶ原サクラソウ
自生地は、ノウルシの花は終わり、伸び始めたオ
ギに隠れがちのサクラソウは濃いピンクの花盛り。
チョウジソウの青い花が咲き始めている。良く見
ると、ここかしこに白いツボスミレが咲き、トダ
スゲが実を付けている。荒川が残した低湿地に絶
滅危惧種の春植物を愛でる自然観察会だった。

(小荷田行男)

5月5日(木、休) 千葉県習志野市 谷津干潟

参加：63名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサ
ギ カルガモ コガモ ハヤブサ チョウゲンボ
ウ バン シロチドリ メダイチドリ ダイゼン
キョウジョシギ トウネン ウズラシギ ハマシ
ギ コオバシギ オバシギ アオアシシギ キア
シシギ イソシギ オグロシギ オオソリハシシ
ギ チュウシャクシギ セイタカシギ ズグロカ
モメ コアジサシ キジバト ツバメ ハクセキ
レイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ スズメ
ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガ
ラス (39種) 1000羽のハマシギが団子になってハ
ヤブサから逃げ惑う様子は、谷津干潟では久しぶ
りだった。一斉に反転すると銀の砂をまき散らし
たよう！ 珍しいシギも出て担当者は笑いが止ま
らない!! (杉本秀樹)

5月7～8日(土～日) 長野県 軽井沢野鳥の森周辺

参加：17名 天気：晴

アオサギ カルガモ トビ バン キジバト ア
 オゲラ アカゲラ コゲラ ヒバリ ツバメ キ
 セキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨ
 ドリ モズ ノビタキ クロツグミ ウグイス
 オオヨシキリ センダイムシクイ セッカ キビ
 タキ オオルリ コサメビタキ エナガ コガラ
 ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ
 メジロ ホオジロ ホオアカ アオジ カワラヒ
 ワ イカル スズメ コムクドリ ムクドリ カ
 ケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス
 (43種) 行くほどに天気が回復し、軽井沢ICを
 下りると快晴状態。雲場の池は静寂そのもの。カル
 ガモ、バンのご夫婦を観察し、初夏の長倉神社
 へ。野鳥の森へのついでにちょっと寄るつもりが、
 キビタキやムシクイ類、カラ類が出現し、予想外
 の盛況ぶり。後ろ髪を引かれながら、塩壺温泉で
 ランチ。ラウンジでイカルやゴジュウカラを堪能
 し、鶴溜から野鳥の森をゆっくりと散策。小瀬林
 道への沢を下っていると、目の前にオオルリが出
 現。全員がじっくり観察出来、出会いに大感激。
 再び塩壺温泉でコーヒータム。カラ類を楽しみ、
 TDK研修所へ。夕食後、「シジュウカラの蟻浴
 び」のビデオを鑑賞、就寝。翌朝は6時起床で研
 修所近辺の散策に出掛けるも、鳥相薄く、朝食後
 に練馬区立少年自然の家を森を探鳥。鳥は出ず、
 急遽話し合いの上早朝の長倉神社へリターン！
 結果的にはこれが大正解で、キビタキ、コサメビ
 タキなどに遭遇し、大満足。境内で昼食後、発地
 エリアへ。広大な休耕田、浅間山の雄姿をバック
 にノビタキ、ホオアカをじっくり観察。2日間で
 43種の出現鳥。ハナマルの初めての軽井沢1泊探
 鳥会であった。(町田好一郎)

5月8日(日) 熊谷市 大麻生

参加:31名 天気:曇

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ マガモ
 カルガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ
 オオタカ チョウゲンボウ コジュケイ キジ
 アオアシシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒ
 バリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグ
 ロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス
 オオヨシキリ セッカ シジュウカラ ホオジロ
 カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボ
 ソガラス ハシブトガラス (36種) 5分咲きのニ
 セアカシアの可愛らしい花を楽しみながら、スタ

ートした。ツバメが飛び交い、カワラヒワがやさ
 しい声でさえずっている。畑ではキジが姿を見せ
 てくれた。あの派手な装いは何度見ても飽きない。
 皆でじっくり観察できた。ゴルフ場の縁では、ブ
 ッシュの中からコジュケイが瀬を出してきた。い
 つも鳴き声を聞くだけの鳥だ。久しぶりに姿を見
 ることができ、皆が大喜びだった。森の上空で
 はオオタカが飛んでいた。明戸の堰ではマガモの
 親子を見ることができ、その繁殖を確認できた。
 最後に鳥合わせの最中、チョウゲンボウが頭上を
 舞って締めくくってくれた。(中里裕一)

5月8日(日) 蓮田市 黒浜沼

参加:55名 天気:曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ カル
 ガモ コガモ コジュケイ キジ バン コチド
 リ ムナグロ キアシシギ キジバト カワセミ
 コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロ
 セキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ オオヨシキ
 リ セッカ シジュウカラ メジロ カワラヒワ
 スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシ
 ブトガラス (32種) 今年のムナグロの飛来は、例
 年に比べ少ないのか遅れているのか。出現の便り
 が少なく、下見でも5羽しか出てくれず、本番が
 心配だった。しかし、出発まもなく50羽の群れが
 出てくれ、キアシシギも混ざり参加者も喜んでく
 れ、ホッとした。最後に黒浜沼上沼周辺を探鳥し
 たらキジが3箇所出てくれ、探鳥会を締めくく
 ってくれた。(田中幸男)



キセキレイ (落合英二)



●訃報

秩父愛鳥会(秩父市下影森・丸山政弘会長)の名誉会長・宮崎章次氏がご逝去。7月18日(日)同市内で開催された告別式に、藤掛保司支部長・海老原美夫副支部長・福井恒人事業部長が参列しました。

宮崎氏には、当支部発足当時から様々な形でご協力いただきました。平成6年(1994年)5月9日から31日までNHKの「定点中継・新緑シジュウカラ日記」で、浦和市(当時)秋ヶ瀬公園の巣箱の中で日々成長するシジュウカラの様子を連続放送した際には、秩父地方で巣箱掛けに豊富な経験を持つ同氏に解説の一端をお願いし、NHK スタジオからの放送にもご出演いただいたことは、中でも大きな思い出でした。享年83。ご冥福をお祈りします。



左から、村上アナウンサー・海老原・宮崎氏

●普及活動

8月3日(水)さいたま市立教育研究所の「環境教育『見沼の自然を知ろう』研修会」が、さぎ山記念館会議室で開かれ、市立学校の教師たちに対し、楠見邦博が、「三室探鳥会から見た鳥と環境の変化について」をテーマに、「見沼の野鳥について」の指導講演を行いました。資料とし

て提供された小学生会員の青木里美、夏美姉妹の鳥の絵と文は特に好評でした。

●事務局の予定

- 9月3日(土) 編集部・普及部会議。
- 9月10日(土) 10月号校正(午後4時から)。
- 9月17日(土) 袋づめの会(午後3時から)。
- 9月18日(日) 役員会。

●会員数は

8月1日現在2,360人。2ヵ月連続の増加は実に6年ぶりになりますが、従来会費切れ2ヵ月で登録抹消していたのを、もっと丁寧な対応を、という柳生会長の指示により、その期間を延長している影響も考えられます。

活動報告

- 7月4日(月) 本部常務会(海老原美夫)。
- 7月9日(土) 8月号校正(大坂幸男・喜多峻次・佐久間博文・志村佐治・藤掛保司、10日に海老原美夫も)。
- 7月17日(日) 役員会(司会:大坂幸男、各部の報告・カワウ対策協議会に関する報告・宮崎氏葬儀への対応・関東ブロック協議会への対応・その他)。
- 7月19日(火) 8月号を発送(倉林宗太郎)。

編集後記

県内では山地の探鳥会が少ない、コースを新設しようと、F氏とともに秩父に一夏泊まり込んで歩き回ったのは1987年。もう20年前のこと。両神山、三峰神社、日野溪谷、羊山などなど。様々な事情ですでに探鳥会が出来なくなった所、また最近復活した所などいろいろあるけれども、「結局今、探鳥会コースとしては長瀬が一番だよ」とは、丸山現秩父愛鳥会会長。久しぶりに短い時間、酒を酌み交わした。(海)

しらこぼと 2005年9月号(第257号) 定価200円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130
 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号
 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com
住所変更退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階
 (財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608
 本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生紙を使用しています。 印刷 関東図書株式会社